特集　こども未来ラボ
～発達障がいを持つ子どもたちと家族の支援を～

「あれ？　ウチの子、まわりの子と違うかも」「なんでこんなに落ち着きがないの？」「いつも忘れ物ばかり」「何回同じこと言ったらわかるの？」

また、「あの子はわがままな子」「落ち着きがない子」「人の話を聞かない子」「親のしつけが悪いんじゃない？」。家族の多くが、子どもの発達の悩みや不安を抱えています。

でも、もしかしたら、その子は生きにくさを抱えて困っている、発達障がいをもつ子どもかもしれません。発達障がいという言葉を耳にする機会は増えてきましたが、理解は果たして深まっているのでしょうか？発達障がいを持つ子どもと家族の支援活動をおこなうNPO法人「こども未来ラボ」を取材しました。

発達障がいは、例えば計算は得意だけど漢字を書くことが非常に苦手、本を読んでいても突然どこを読んでいるのかわからなくなる、周りからの刺激が気になって集中できない、物事へのこだわりが強いなど、人それぞれさまざまな特性があり、その程度も違います。

見た目では、障がいの有無がわかりづらいのも特徴です。時に、本人は悪気がない行動でも、「落ち着きがない」「衝動的」「人の話が聞けない」などと周囲から見られたり、「本人の努力が足りない」「親のしつけの問題」などと批判的に見られがちです。特に、幼稚園や小学校など集団生活に入ったとき、さまざまな問題や困難に直面することが多々あります。ほかの人が簡単にできることが、自分にはなかなかできないなどの経験をして「自分はだめな子」と思うようになる、気持ちがうまく伝えられないことで周囲の人に対して批判的・攻撃的・反社会的な行動が強まったりします。また、そのような発達障がいを持つ子どもの家族は、子どもの行動が理解できずに悩み、今後の進路や暮らしに不安を感じるケースが少なくありません。

「なぜそのような行動をとるのか。障がいの特性を知り、生きにくさの原因になっている環境を少し変えるだけで、発達障がいを持つ子どもは生きやすくなる」と、こども未来ラボの芋生多恵子代表は語ります。

芋生さん自身、子育て中に周りから「じっとしていられない子」「お母さん、ちゃんとしつけをしてください」と言われ続けてきたとのこと。当時は発達障がいという言葉もなく、「いま思えばADHD（注意欠陥多動性障がい）だったのかもしれない」と言います。

「自分の子育て経験やいろいろなきっかけを経て、白梅学園大学で学び、日本LD学会正会員となり、さらに特別支援教育士資格認定協会で学びました。そして地域での家族支援の課題解決のために行政と協働する、この大切さを知る事になりました。」と発達障がいに特化した支援活動をはじめた経緯を話してくれました。

生活の中で困難なこと、苦手なことは一人一人違います。そのため、一人一人の障がいの特性を理解し、その特性に応じた環境づくりや、支援が大切とのこと。こども未来ラボでは、発達障がいを持った子どもたちが将来、社会の一員として自立できるように学習支援やソーシャルスキルトレーニングなどをおこなっています。

発達障がいを持つ子どもの家族には、子どもとのよい関係性を作るための「ペアレント・プログラム講座」の企画/運営を小平市障がい者支援課と協働で行い、発達障がいを持つ子どもを育てた経験のある先輩お母さんが今、子育てに悩むお母さんの話を聞き、地域の情報を提供し、同じ目線で寄り添う東京都の事業でもある「ペアレントメンター」も展開しています。

芋生さんは「今後、このような信頼して相談できる先輩お母さんたちを地域で増やし、悩みを抱えたお母さんたちが、ふらっと立ち寄れる場所をたくさん作っていきたい。『自分らしく生きる、違っているところを生かそう！』を合言葉に地域すべての子どもたちのサポート活動をおこなっていきたいです。」と、力強く語ってくれました。

∴∴∴∴∴∴∴∴∴∴

今回の取材を通して、発達障がいについての知識、理解をもっと深め広げていくことが、発達障がいを持つ子どもや家族とともに生きる社会をつくることになるのではないだろうかと思いました。

発達障がい啓発講演会　　平成30年度小平市いきいき協働事業

「見方」が変われば「味方」になれる

講師　藤原 里美 氏

一般社団法人 チャイルドフッド・ラボ代表理事
臨床発達心理士・自閉症スペクトラム支援士
早期発達支援コーディネーターSV・保育士

「子どもの発達が気になる」「子どもが困った行動をした時にどうしたらいいのかわからない」など、子育てに悩む保護者のために、臨床発達心理士として多くの子どもたちと接してきた経験から子どもの個々の特性を理解し、良い関係を築くための手法について語ります。

入場無料
手話通訳あり

日時　平成３０年６月３０日（土）14:00～16:00（開場 13:30）
場所　小平市福祉会館４階小ホール
定員　１００名（先着順・予約制）
申込期間　平成30年5月19日(土)～6月22日(金)

■ TEL・FAX・メールにてお申込みください。
■ 氏名、連絡先（TEL/メール）、お立場（保護者/支援者/その他）をお知らせ下さい。
■ 配慮が必要な場合は申込時にお知らせ下さい。
■ 不慣れさでお子さんを持つ保護者の方で事前のご質問があればメールのみにて受け付けます。質問内容は(1)どんな時に (2)どんな事で困ったり、悩んだりしているかを具体的にお書き下さい。質問内容は事前に精査し、同じような内容についてはまとめさせて頂くことをご了承下さい。

申込み・問合せ先
NPO法人 こども未来ラボ
TEL&FAX　042-359-4587
E-Mail：machikado.mirai.imotae@gmail.com
（日曜日を除く）

主催　小平市
担当　障がい者支援課
TEL　042-346-9540

この講演会は小平市とNPO法人こども未来ラボが協働で行う事業です。

講演会　６月３０日福祉会館にて
詳細は、「こども未来ラボ」で検索。